

『医師による院外処方箋のインシデント事例に関する実態調査について』

【目的】医療安全ではハインリッヒの法則は周知の事実であり、重大な事故防止のためにインシデントレベル「0」および「1」事例からの収集と分析が推奨されています。現在、病院薬剤師は入院処方箋を中心にインシデント事例を報告しています。しかしながら、外来院外処方箋については直接チェックすることがなく、その実態は明らかではありませんでした。そこで今回、保険薬局からの疑義照会事例をインシデント事例として抽出することで、外来院外処方箋に関する処方医のインシデントの実態を明らかにし、分析を行うことで事故防止に努めます。

【期間】2024年4月1日～2027年3月31日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2023年5月～2023年10月までに、当院で保険薬局から疑義照会のあった外来患者の方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：疑義照会記録より過去にさかのぼり調査します。

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 大和郡山病院
〒639-1013 奈良県大和郡山市朝日町 1-62
TEL (0743) 53-1111 (代)

所属・職名 薬剤部・薬剤師

研究責任者 岡田 理恵子